



正しく使おうマスク!



1 鼻の形に合わせ
すき間をふさぐ



2 あご下まで伸ばし顔に
すき間なくフィットさせる

**会話時は
必ず着用!**

ポイント

- ・鼻出しマスク× あごマスク×
- ・着けたら外側は触らない
- ・ひもを持って着脱
- ・品質の確かな、できれば不織布を



こまめにしよう 手洗い・手指消毒!

こんなタイミングでは必ず!

- ・共用物に触った後
- ・食事の前
- ・公共交通機関の利用後 など

ポイント



指先・爪の間・指の間や手首も
忘れずに洗いましょう!



目指そうゼロ密!

一つの密でも避けましょう!!



密接

マスクなし× 大声×



密集

大人数× 近距離×



密閉

換気が悪い× 狭い所×

令和4年第1回(3月)定例会

2月 24日	木	本会議 (議案上程)
3月 4日	金	本会議 (一般質問)
7日	月	
8日	火	本会議 (議案質疑)
10日	木	総務文教常任委員会
11日	金	建設厚生常任委員会
17日	木	
18日	金	予算決算常任委員会
22日	火	
25日	金	本会議 (委員長報告)

※いずれも午前10時開会予定

contents

第3回臨時会の概要	2
第4回定例会の概要	3
委員会審査	3
一般質問	4～7
令和3年市議会の活動	8

富田林市議会

検索



www.city.tondabayashi.lg.jp/site/gikai

すばるホール条例の一部改正
(継続審査)

問 行政機能の一部をすばるホールへ移転することで、改修工事にかかる費用について聞く。

答 最大約三億円かかる可能性があり、短期間移転の場合は、二分の一から三分の一までに抑える工夫が必要と考えている。

問 改修工事の内訳を聞く。

答 エアコン含む機械設備で六千万円、内装で九千万円、倉庫新設に千五百万円、他電気工事等で合計約三億円となる。

問 本移転と仮移転の総費用の差について聞く。

答 仮移転は百五億三千万円、本移転は九十三億八千万円の事業費を見込んでおり、約十一億円の差が生じる。

問 近隣に推定活断層があるとのことだが、すばるホールを使用することに問題はないか。

答 庁舎整備基本計画において、敷地の安全性はA評価となっており、使用に問題はない。

問 テレワーク等の推進により、庁舎外で働く職員も今後増える予想されるため、新庁舎に庁舎機能を戻すスペースが確保できるのではないか。

答 今後、ICTやAI技術等の活用により、職員の働き方について、大きく状況が変わる可能性はあると考える。

問 状況が変わる可能性があるということは、他施設にいる職員を本庁舎へ戻すよう最大限努力するというのか。

答 時期は明確ではないが、状況の変化により本庁舎へ戻る可能性があるといることである。

問 現在、どの程度庁舎建替え計画に遅れが生じているか。

答 設計作業に遅れが生じており、三カ月程度遅れることになると考える。

問 市民に対し、現在の状況を説明し、意見を聞く場を設けるべきではないか。

答 方向性が定まった時点で市民への説明を考えている。

問 市民の利便性のために庁舎機能は本庁舎へ戻すべきではないか。

答 様々なご意見があるため、真摯に受け止め検討していく。

問 庁舎機能が分散化されることは、緊急時のバックアップ体制につながるのでは。

答 災害対応も考えられるが、現在課題や問題点について担当課にヒアリングしている。

問 これまで現地全面建替えが結論となっていたが、早期の耐震化着手が求められている中、なぜ計画が変更されたのか。

答 コロナ禍による財政状況の悪化等を踏まえ、後の世代にできる限り負担を残さないため、現在の案を提出している。

条例案件

▼すばるホール条例の一部改正

九月定例会において継続審査とされた本条例改正について、閉会中に総務文教常任委員会において審査し、本臨時会において議決したものを。
(詳しくは生涯学習課まで)

▼消防手数料条例の一部改正

令和元年に改正した消防手数料条例について、危険物貯蔵タンク関連の手数料表記に一部誤りがあったため、遡及して該当箇所を改正するもの。
なお、本件による手数料の誤徴収はありません。
(詳しくは予防課まで)

附帯決議

▼議案第四十一号 すばるホール条例の一部を改正する条例に対する附帯決議

本附帯決議は、市庁舎建替えに伴うすばるホールへの庁舎機能の一部移転について、財政負担の軽減や一部移転を仮移転とすることなどを市へ要望するもので、採決にあたり賛成・反対の討論があり、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。

議決結果一覧表 (全会一致のみ)

件名	結果
●富田林市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
●和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分報告	報告受理
●訴えの提起についての専決処分報告(貸金請求事件)	報告受理



令和3年第3回(11月)臨時会 議案に対する賛否一覧表

賛否一覧表 (全員一致の議案以外を掲載します)	公明党				とんだばやし未来			大阪維新の会 無党派の会		日本共産党		ふるさと富田林		自由民主党		無党派		議決結果	
	村山理恵	遠藤智子	草尾勝司	高山裕次	尾崎哲哉	南齋哲平	辰巳真司	伊東寛光	京谷精久	田平まゆみ	岡田英樹	坂口真紀	吉年千寿子	西川宏	南方泉	左近憲一	村瀬賢一郎		中山佑子
すばるホール条例の一部改正	○	○	○		○	○	○	×		×	×	○	○	○	○		○	×	原案可決
すばるホール条例の一部改正(修正案)	×	×	×	欠席	×	×	×	○	議長	×	×	×	×	×	×	退席	×	○	修正案否決
すばるホール条例の一部改正に対する附帯決議	○	○	○		○	○	○	×		×	×	○	○	○	○		○	×	原案可決

○賛成

×反対

※議長は採決には加わりません



人事案件

市議会では、次の方の任命・選任について、全会一致で同意しました。

▼教育長

山口 道彦 氏

▼固定資産評価審査委員会委員

鈴木 信治 氏
松本 健次 氏
小林 邦子 氏

条例案件

▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

国において基準及び規則が一部改正されたことにより、保育所等の事業者に係る記録作成等について電磁的記録による方法を認めるため、所要の改正を行うもの。

(詳しくはこども未来室まで)

▼国保条例等の一部改正

健康保険法施行令等の一部改正等により、出産育児一時金等の支給額及び未就学児の均等割保険料の軽減措置が講じられるため、所要の改正を行うもの。(詳しくは保険年金課まで)

その他

▼財産区財産の処分(新堂財産区)

新堂財産区保有のため池について、駐車場用地として購入の申し入れがあり、売却するもの。(詳しくは行政管理課まで)

請願・意見書

▼七十五歳以上医療費窓口負担二割化の中止を求める請願書

▼七十五歳以上医療費窓口負担二割化の中止を国に求める請願書

この両請願は、国に対し意見書の提出を求めるもので、採決にあたり賛成・反対の討論があり、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

▼新市庁舎は令和二年十一月策定の『基本計画』をもとに現地で全面建替えし、庁舎一部の「すばるホール」移転を止めることを求める請願書

本請願は、市庁舎の現地建替えとすばるホールへの庁舎機能一部移転を止めることを求めるもので、採決にあたり賛成・反対の討論があり、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

▼「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂をあらゆる埋立に使用しないよう求める意見書」の提出を求める請願

本請願は、国に対し意見書の提出を求めるもので、採決にあたり賛成の討論があり、全会一致で採択となりました。

▼沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂をあらゆる埋立に使用しないよう求める意見書

先の請願が採択されたことにより、国に対し意見書の提出を求めるもので、本会議において、全会一致で可決されました。

なお、可決された意見書は、国の関係各機関に送付しました。

補正予算

(一般会計補正予算四件)

広報誌の市内全戸配布のための債務負担行為補正や、児童手当給付事業のシステム改修、子育て世帯等への十万円現金給付、新型コロナウイルスの三回目接種に係る委託料等の補正等が主なものです。

(特別会計補正予算六件)

財産区財産の売却や前年度事業額確定に伴う精算金の補正、新たに上下水道工事を行うための債務負担行為の補正等が主なものです。

一般会計補正予算(第八号)

問 債務負担行為補正の広報配布委託料について、事業内容を聞く。

答 現在、町会に未加入の世帯の一部および町会のない地域の一部並びに事業所・店舗に対し、市広報誌を届けられていない課題への対応として、令和四年五月号より、町会配布を継続する一部地域を除き、配布事業者への委託業務として全戸配布を行うもの。

問 債務負担行為補正の道路補修工事費について、公共工事の平準化とは何か。

答 公共工事の発注については、予算の会計年度独立の原則があるため、四月から六月までの第一四半期の稼働量が少なく、年度の後半に多忙になる等、時期的な格差が生じており、この状況を改善し、年間を通じた工事業の安定を目的とするもの。

問 文書管理事務の文書等電子化委託料について、委託による電子化は、課税課の文書だけなのはなぜか。

答 課税課で保管している家屋台帳、土地台帳を電子化することにより、経年劣化する紙の台帳を長期保存することが可能になるとともに保管スペースに余裕ができるため、庁舎建て替

え期間中に手狭となる南館を有効に使える効果もあることから、年度内に完了させるために業務委託により集中的に行うこととしたもの。

問 生活困窮者自立支援事業について、生活困窮者住居確保給付金における令和二年年度の受給者数等の当初見込みと実績を聞く。

答 予算時の見込では、受給者数を二百人、述べ支給月数を千四百二十九月、支給合計額を五千八百二十二万八千円としており、実績においては、受給者数が百十二人、述べ支給月数が七百二十九月、支給合計額が二千八百四十七万七千円となった。

問 児童手当給付事務について、現況届が不要となることと、だが、周知方法を聞く。

答 児童手当の現況届が不要となることについては、市広報紙や市ウェブサイトによる周知をはじめ、令和四年五月中頃に啓発チラシを郵送する予定である。

問 常備消防活動事業について、自動心マッサージ器の購入理由を聞く。

答 新型コロナウイルスの感染リスクを下げる目的で、患者に接触する隊員を最小限にすることから、心肺停止の患者には自動心マッサージ器を使用するため購入するもの。



ふるさと富田林
坂口 真紀



ヤングケアラーへの支援をもとめて

問 ヤングケアラーの実態について全国的な調査が実施され国でも支援策の検討が始まっている。ヤングケアラー支援は教育と福祉の連携が不可欠であり、教育委員会とこども未来室、増進型地域福祉課が協力して重層的支援体制を構築していく必要がある。福祉何でも相談窓口を中心にした庁内取り組みを聞く。

また、全庁的な連携を確実なものとするため、ヤングケアラー支援を含むケアラー支援条例の制定に向けて、本市でも今一歩踏み出すべきだと考えるが、



その見解を聞く。

答 ヤングケアラー支援に向けて四月より増進型地域福祉課、こども未来室、教育委員会による庁内検討会議を立ち上げ、本市のヤングケアラーへの支援ネットワークについて検討を行い、庁内の関係部局間の連携や医療・介護・福祉等の支援機関、教員やスクールソーシャルワーカー、民生児童委員などによる支援ネットワークを位置づけた。それらの状況を踏まえ、取り組みを進めながらケアラー支援条例の制定に向け、調査していく。

新たな本市財源の確保に向けて

問 社会状況の変化に対応し、市民サービス向上と市民生活の充実へ繋げていくためには、危機感と経営意識を持って、本市独自の収入確保の取り組みが重要である。本市の行財政経営改革ビジョンでは、公共施設等のネーミングライツなど新たな広告募集を図り、更なる収入増加を図るとあるが、今後のスケジュール等について聞く。

また、掲載企業の開拓は、縦割りではなく、入口部分は全庁で行い、効率・効果的に取り組むべきだと考える。導入から実績に至るまでの過程も含め市の見解を聞く。

答 現時点では、具体的な内容や候補地等は決まっていないが、今後は条件、スポンサー料、期間の設定、ならびに課題の整理など、導入済自治体の事例等も参考にしながら、令和五年度からの導入に向け、準備を進めていく。また、市の歳入確保という経営意識を高める観点からも、受動的でなく、全庁的な取り組みとして、すべての所属において主体的な募集情報の発信、より効率的・効果的な制度運用を目指していく。

その他の質問

●DXを見据えたデジタル化推進の体制構築について



公明党
高山 裕次



市役所業務におけるテレワークの推進を

問 コロナ禍の中、市役所には令和二年度、百台のテレワーク用パソコンが導入されたが、その後の活用について、実施状況と課題とともに、テレワークに対する市の見解を聞く。

次に、多くの自治体では、目標を定めてテレワークの実施に向けて取り組んでおり、本市でも、まずは現在進めている一部

職員での試行などスモールスタートで実施することが、着実なテレワークの推進につながると思われるが、市の見解を聞く。

答 本市では、テレワーク勤務を令和三年四月から実施したが、市民の方と直接対応する部署が多く、テレワークで実施できない業務が多く存在することや、個人情報管理などの課題があった。今後、課題について解決に努め、テレワーク定着に向けた環境整備に取り組んでいく。

次に、今後、現在の対象部署を拡大したテレワーク実施を行い、令和四年度には市役所のデジタル化全般を担う「(仮称)デジタル市役所推進室」を新たに設け、全庁的・計画的なテレワーク導入の方策を講じていく。

防犯カメラ設置への補助と更新について

問 町会等が管理する防犯カメラのメンテナンス等の費用補助について、市の見解を聞く。

また、町会等が管理する防犯カメラのリース料を含む補助の拡充について見解を聞く。

次に、市設置型防犯カメラの計画的な更新について、市内百十五箇所のカメラ更新には、かなりの費用や期間がかかるため、できるだけ経費を抑え、迅速かつ計画的な更新などを考える必



要があるが、どのように更新を行うのか、市の見解を聞く。

答 現行の補助要綱では設置後の維持管理費用は対象外だが、防犯カメラは通常屋外に設置し、常時稼働するため、今後維持管理費用の補助も検討していく。

また、リース料補助は想定していないが、複数台設置する場合は町会の負担が大きいため、今後、防犯カメラのリース市場や他市の状況を調査していく。

次に、市設置型防犯カメラ更新には多額の費用が必要であるため、購入や、長期間リースなどあらゆる方法を検討し、更新の方法については、設置時同様に順次計画的な更新を行う。

その他の質問

- マイナンバーカードの普及促進について
- 雑草処理作業へのサポートをさらに農業塾への支援を





とんだばやし 未来
尾崎 哲哉



国道三〇九号における 渋滞の緩和について

問 国道三〇九号は、大阪市内や堺市中心部へ続く重要な幹線道路であるが、近年、三〇九号沿線には大型商業施設が多く開業し、慢性的な渋滞が発生しており、来秋には大型商業施設二件の開業が予定されているため、更なる渋滞が予測される。本市域ではないが、多くの市民が影響を受けているため、これらの商業施設がある市は渋滞緩和の対策を講じているのか、また、本市は当該市や国道管理者の堺市・大阪府に対し、渋滞緩和に向けた提案や要望をして



いるのか、市の見解を聞く。
答 大型商業施設の出店は、商圏が広範囲に及ぶことから、各事業者、道路管理者、交通管理者である所轄警察署及び府警本部と協議を行い、渋滞対策を実施していると聞いている。

また、国道三〇九号は、以前より道路管理者が交差点改良などの渋滞対策を行っていると言われているが、更なる渋滞が予測されるため、引き続き強く渋滞対策を要望し、交通量分散化についても強く要望していく。

コロナ禍の中、自治会活動への支援を求めて

問 市民協働のまちづくりを進めるうえで、町会・自治会は重要なパートナーであるが、人口減少、少子高齢化など本市を取り巻く状況は大きく変化しており、町会・自治会においては、コロナ禍の中、感染予防対策を徹底しながら、地域活動の縮小にならないよう努力している。このため、市は時代のニーズに応じた支援策や自治体加入率向上に向けて取り組む必要があるが、コロナ禍等における自治会活動低下の懸念およびその対応策について、見解を聞く。

答 新型コロナウイルス感染症拡大で町会・自治会の恒例行事

やイベントが中止となり、近隣同士のコミュニケーションが低下するなど、地域コミュニティの希薄化が危惧されている。

本市では、昨年度、国の交付金を活用し、町会・自治会が行う感染防止対策費用へ補助を行い、また、総会や役員会など会議の書面開催の実施に向けた資料を市のウェブサイトに掲載している。今後も、コロナ禍において町会・自治会活動が円滑に実施できるような支援していく。

その他の質問

● 地域公共交通について
● コロナ禍の小中学校における取り組みと今後の対応について



日本共産党
岡田 英樹



新庁舎の建替えに係る 多くの問題点について

問 市庁舎建替えに伴い、すばるホールを分庁舎化するには多くの問題がある。

まず、庁舎整備基本計画において、すばるホールの使用は全く想定されておらず、すばるホールへ移転することで新たに三億三千万円の費用が発生することである。このため、市役所敷地に仮庁舎を建設し、利用者へ

負担をかけない計画などを採用すべきと考えるが、見解を聞く。
答 庁舎整備基本計画では、仮庁舎を建設する計画が、他の計画より優位とあるが、仮庁舎の建設・解体費用を五億八千万円と試算しており、市としては、他の施設の活用によりコストの縮減を目指すものである。

問 すばるホール付近には推定活断層があるため、耐震補強するには費用がかさみ、耐震補強をせずに移転することは危険が大きすぎるとの見解を聞く。

さらに、移転対象となる部署は道路や下水道など、市が大地震に被災した際、復旧の中心となる担当課であり、市役所本庁舎の災害対策本部から離れるため、市が市民の防災対策にあたるのか、見解を聞く。

答 推定活断層とは、存在が推測されるもの、今後活動を繰り返すか不明なものであり、基本計画においても課題ではないとあり、すばるホールの耐震補強は必要ないと考える。さらに、新庁舎の建設までは、耐震性能の高い消防庁舎に災害対策本部を設置し、災害対応に当たることを想定しており、今後、危機管理室等と体制整備などについて、連携を図っていく。

問 すばるホールの耐震性能は、新耐震基準で建てられている



るため問題ない、とのことだが、四十年前の基準ではなく、現在の国土交通省が定める官庁施設の総合耐震基準において、構造体I類、非構造体A類、建築設備甲類の基準を満たしているのか、市の見解を聞く。

答 官庁施設の総合耐震計画基準は、公共施設の耐震性能を機能分類し基準を定めたものだが、すばるホール建設後に定められたものであり、この基準に当てはめた場合、すべてを満たしているものではないが、すばるホールは、建築基準法上の新耐震基準に基づいて建築されているため、建築物としての耐震性には問題がないと考える。

その他の質問

● 市民の置かれている状況について
● 市への寄付の受け入れ手続について

これが聞きたい！

一般質問

会派代表質問

QRコードで質問の動画が見られます。





自由民主党
西川 宏



ごみに対する考え、ごみ処理等について

問 余った無料ごみシールの有効利用について、回収してポイント付与、または何か景品と交換や抽選などインセンティブを新たに考えてみてはどうか、市の見解を聞く。

答 余った無料ごみシールの有効利用について、ポイント付与、景品交換や抽選などについては、さらなるごみの減量化、資源化の推進につながるものと考えられることから、公民連携の活用も含め、他市の事例も参考にしながらより効果的な手法について調査研究していく。

問 回収された資源ごみは、資源リサイクルセンターに持ち込まれ、リサイクルできるきれいなものとその他に分類される。SDGsの観点から、資源プラスチック製容器包装ごみの回収量を増やすことはできないのか、市の見解を聞く。

答 コロナ禍などで、各家庭での資源プラスチック製容器包装ごみが以前より増加していることは認識している。しかしながら、回収回数が増えることにより、委託料の増加の課題もあることから、調査研究していく。

学校教育のあり方について

問 学校現場の先生方への支援内容と、GIGAスクールサポーターの具体的な活用状況について聞く。

答 教員のタブレット活用を支援するため、授業での活用動画等の公開、及び、授業支援ソフトや持ち帰り学習に向けた研修等を実施している。

問 GIGAスクールサポーターについては、本年度は市内二十四校に四名を配置し、一名あたり六校を分担してタブレット活用に向けた支援を行っている。

問 不登校や教室に入れない子どもたちへの対応や課題について聞く。

答 教室に入りづらい子どもたちへの対応として、各校で教員や養護教諭が別室での授業や心のケアを実施している。また、中学校へ指導員を派遣し、校内で適応指導教室を開設することで教室復帰への支援や不登校の防止を行っている。学校に通うのが難しい子どもたちについては、学校が定期に家庭訪問を行い、不登校児童・生徒の心身の状況を把握しながら、学校復帰できるように支援している。

その他の質問

●公共交通の利便性について
●市民の文化活動やスポーツ振興の活性化について



大阪維新の会・無会派の会
伊東 寛光



契約書や仕様書の適正な作成と履行確認について

問 学校給食配送業務仕様書には、受注者の従業員が配送業務に従事する時間は、「午前10時から午後3時」という原則と、「発注者が必要あるときは受注者に通知のうえ、この時間を延長又は短縮することができる」という例外が定められている。

しかしながら、実際には受注者の従業員のほぼ全員が、午後

2時頃に帰っている。

契約金額の積算根拠として人件費を午後3時までで見積もっていた場合、受注者の従業員1人当たり、最大で約1時間分が過剰に見積もられていることになるが、市の見解を聞く。

答 現状では、午前9時20分頃に配送従事者8名が出勤後、回収業務が終わる午後2時10分前後には大半が退社し、回収したコンテナの整理作業を行う2名は、午後2時30分頃には退社している。一方、旧センターの勤務時には、仕様書記載の従事する時間と勤務実態とは、50分程度異なる状況にあった。

業務実態が仕様に沿ったものとなるよう、富田林学校給食株式会社に対して指導する。

市立幼稚園・保育所のあり方基本方針について

問 本件は前市長・前教育長の強いリーダーシップと覚悟のもと、平成30年8月に素案が公表されたが、吉村市長と新教育長の就任後に白紙撤回された。私たちの会派は、市立幼稚園

の統廃合を進める立場から、新たな基本方針の策定を強く要望してきたところ、市長は令和3年3月議会の施政方針演説で、基本方針を「令和3年度中に策定する」旨を力強く宣言された。

ところが、未だに素案の説明はなく、市民からも不安の声や、「早く方向性を示して欲しい」という切実な声が届いている。

「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」の策定に向けての具体的なスケジュールについて、市の見解を聞く。

答 基本方針の策定は、市立幼稚園・保育所の状況確認を行い、3年保育や午後5時までの預かり保育、全ての園での給食など、最近取り組んでいる各事業の成果や課題整理について時間をかけて検討することに加え、市立幼稚園において合同保育の検証を更に重ねた上で、令和4年度中に素案を示したい。

その他の質問

●選挙の投票率を上げるために
●コロナ禍における第8期介護保険事業計画実施状況について
●効果的な職員研修をもとめて

令和4年度 富田林市立幼稚園願書受付状況

幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	計
富田林	14	15	12	41
喜志	16	9	14	39
新堂	8	9	12	29
大伴	4	12	3	19
青葉丘	10	8	9	27
津々山台	14	14	10	38
錦郡	4	7	6	17
伏山台	6	11	2	19
彼方	4	8	5	17
川西	7	8	6	21
計	87	101	79	267

※令和3年11月30日現在



これが聞きたい！

一般質問

個人質問

QRコードで質問の動画が見られます。



左近 憲一



新庁舎建設計画は何を基にしたか

問 基本計画は。

答 令和元年五月に、庁舎整備の方向性を定め、市民委員等の参加の元、基本方針、整備方法や事業手法などの項目について、総合的に取りまとめたものが「市庁舎整備基本計画」である。

問 庁舎建設に伴う総費用はいくらか。

答 新庁舎整備における、移転先改修費を含めた建設費用の総額は、約九十三・八億円と試算している。

問 設計図面が出来ているか。

答 現在、基本設計を行っている最中であり、図面等は出来ていない。

問 仮移転の業務部局は。

答 仮庁舎を建設せず、現庁舎の南館、すばるホール、消防庁舎、甲田にある送配水管理センター、大阪狭山市にある資源再生センターの五カ所に移転させる。

【質問まとめ】新庁舎建設は賛成だが、仮移転先は市民や業務の利便性に、もう少し工夫が必要

である。また、新庁舎完成時には、仮移転は本庁に戻すこと。



中山 佑子



クレベリンとオゾン発生器について

問 本市は、約2万個の空間除菌用品をコロナ対策とうたい市民に支給し、またコロナ対策として効果が証明されていないオゾン発生器の寄贈を受け、市内の全公立小中学校、幼稚園に設置した。そもそも空間除菌は、人への有効性や安全性が未確立で、医薬品や医療機器として承認されていないため、医薬品医療機器等法により、コロナへの効果をうたうことができない。

まず、クレベリン等をコロナ対策用品として送付したことにつき、本市の見解を問う。

答 結果として新型コロナウイルスに効果がある医薬品との誤解を与えかねない内容となった。今後は、関係法令等の調査及び専門家の意見を伺い、表現にも十分注意するようにする。

問 次に、オゾン発生器の寄贈を受け、市長が「新型コロナウイルス感染症対策のため」と明記した感謝状を贈ったことにつ

き、本市の見解を問う。

答 寄贈を受けた機器は、国事業において購入する機器と同様のものであり、感染対策の一助となるものと認識している。

その他の質問

- 障害福祉課に看護師・保健師の専門相談員を
- 地域猫活動について
- ゴミ事業について



村瀬 喜久一郎



ヤングケアラーの早期発見・支援等について

問 令和四年度から、ヤングケアラーに関する社会的認知度の向上のための集中取組期間が国において開始される。令和二年度の実態調査では、中高生の八割以上が「ヤングケアラーについて聞いたことがない」と回答しており、自らが当事者であることを、子ども達自身が認識出来ていない場合も多い。厚生労働省では、リーフレット等の作成も進めており、埼玉県でも先進的な啓発や実態調査を行っている。本市でも子ども達や教職員等に周知が必要と考えるが見解を聞く。また、市内の幼稚園・保育所等の送迎を兄や姉が

している場合、ヤングケアラーに該当する可能性が高いと考えるが、早期発見への対応を聞く。

答 本市教育委員会としては、ヤングケアラーの周知・啓発、相談支援の充実の必要性を強く認識している。今後厚生労働省による刊行物や実態調査も含め研究し、体制の充実に取り組む。園児の送迎は保護者の体調不良等の際、中高生が行う場合もある。続く場合、要対協等と連携し、適切な支援につなげていく。

その他の質問

- 家庭養護里親・特別養子縁組促進のための取組について
- 市職員の福利厚生・休暇制度運用について(不妊治療休暇等)

令和3年 市議会の主な活動

会議別	日数
本会議 (定例会4回 臨時会3回)	103日(会期)
常任委員会 (総務文教・建設厚生・予算決算)	14日
議会運営委員会	23日
広報委員会	11日

※その他に幹事長会、全員協議会を行っています。また、組合議会や執行機関の委員会、審議会及び広域行政の議会や協議会等に出席しています。

会議別	件数	提出内容
本会議の提出案件	128(件)	条例19 予算31 決算認定8 意見書5 人事6 その他59
本会議の議決案件	128(件)	可決78 否決18 決算認定8 その他24

常任委員会審査のライブ放映について

市議会では、令和4年3月定例会より常任委員会審査のライブ放映を正式に開始します。
下記URLから又はQRコードを読み取って、遷移先の映像配信<外部リンク>からご視聴ください。



URL : <https://www.city.tondabayashi.lg.jp/site/gikai/eizo.html>



議決結果一覧表 (全会一致のみ)

Table with 3 columns: Item Name (件名), Result (結果), and a ' unanimous consent' (全会一致) stamp. Items include amendments to ordinances and budget items.

令和3年第4回(12月)定例会 議案に対する賛否一覧表

Table showing voting results for various proposals. Columns include party names (e.g., 公明党, 日本共産党) and the final decision (e.g., 不採択).

○賛成 ×反対

※議長は採決には加わりません

議会日誌

十一月

22日 議会運営委員会・全員協議会
30日 定例会一日目(議案上程)

十二月

8日 定例会二日目(一般質問)
9日 定例会三日目(一般質問)
10日 定例会四日目(議案質疑)
14日 総務文教常任委員会
15日 建設厚生常任委員会
16日 予算決算常任委員会
20日 定例会最終日(委員長報告)

編集後記

冬の寒さが一段と厳しくなってきましたが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。今号では、昨年十一月臨時会および十二月定例会の一般質問を中心に掲載しました。今後も広報委員一同、皆様に親しまれる紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

【☎(25)1000 内線 215】

